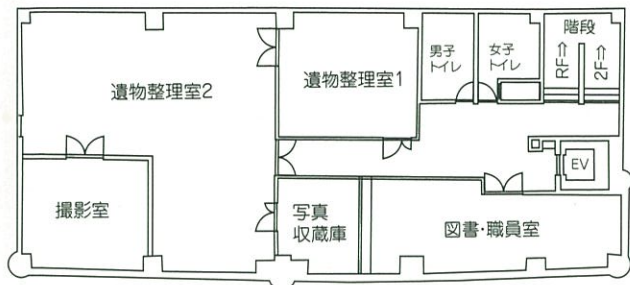
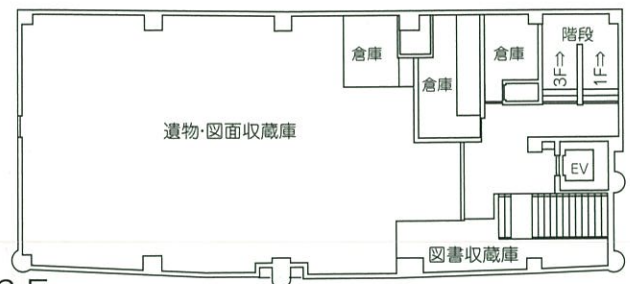


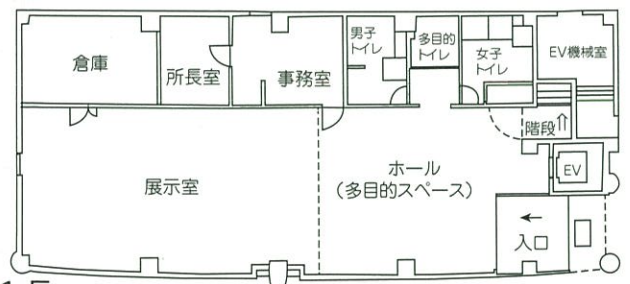
館内案内図



3 F



2 F



1 F

施設概要

- 建築面積318.29㎡、延床面積932.38㎡、建設1996年
鉄筋コンクリート造3F建、敷地面積1,562.02㎡
- ・ 1F：展示室、ホール(多目的スペース)、所長室、事務室、倉庫
- ・ 2F：収蔵庫(遺物・図面・図書)
- ・ 3F：図書・職員室、遺物整理室1、2、撮影室、写真収蔵庫

利用案内

開館時間／午前9時から午後4時30分まで
(入館は午後4時まで)

休館日／毎週土・日曜日・祝日
年未年始(12月28日から1月4日まで)
その他、市教育委員会が必要と認めるとき

入館料／無料(ご自由にお入りください)

※利用上の注意

1F展示室での展示品の写真撮影は可能ですが、その際はカメラのフラッシュ等を使用しないようご注意ください。
また2・3Fは関係者以外立ち入り禁止となっています。

交通案内



- JR山陽本線「河内駅」下車 南へ徒歩7分※
- 国道432号線から県道33号線(瀬野川福富本郷線)へと分かれる交差点から南東、三原方面へ800m。
- ※当センターはJR河内駅のすぐ南にありますが、河内駅の改札口が北側にしかないため、迂回して東側から線路を踏切で越えるか、西側から歩行者用トンネル(野々口架道橋)で線路下をくぐる必要があります。
- 駐車場：23台駐車可能(思いやり駐車場有り)

東広島市出土文化財管理センター

〒739-2201 広島県東広島市河内町中河内651番地7
TEL(082)420-7890 FAX(082)437-0320
E-mail: hgh207890@city.higashihiroshima.hiroshima.jp
lg.jp

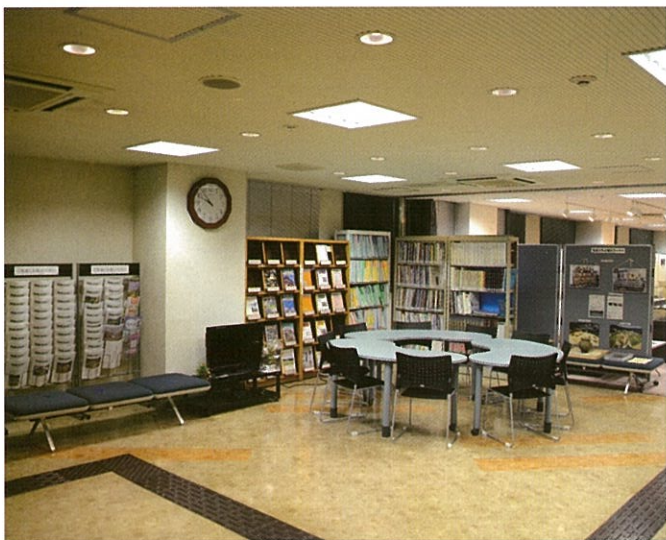
東広島市出土文化財管理センター

Higashihiroshima City Unearthing Cultural Assets Management Center



出土文化財管理センターの概要

東広島市内には、広島県下最大の規模で市民からも親しまれている史跡三ツ城古墳をはじめ、多くの遺跡が存在しています。東広島市出土文化財管理センターは、市内各地の遺跡から出土した品を整理・収蔵・展示する複合施設として利用されています。



1 F：ホール（多目的スペース）

遺跡の発掘調査報告書や各種パンフレットの閲覧ができ、写真展示のスペースもあります。また、土器パズルで手軽に復元作業を体験することも可能です。



東広島市出土文化財管理センターでは土器づくり・勾玉づくりにも挑戦できる体験型イベントや、実際に土器などにふれてもらい歴史を学ぶような催しも、地元の学校と連携して行っています。詳しくはパンフレット裏面の連絡先へお問い合わせください。

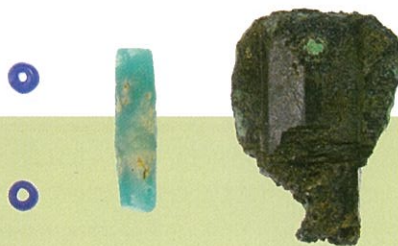


1 F：展示室 ※写真中央は山王第6号古墳（豊栄町）出土石棺の複製



黄幡1号遺跡（西条町）出土の木製品

県内初例、弥生時代の木製品群が出土、弥生時代の暦年代を知る貴重な手がかりに？



横田1号遺跡（西条町）出土の玉類と銅剣



3 F：遺物整理室での作業風景



墨書土器
西本6号遺跡（高屋町）出土

**甦る東広島
古代の記憶!**

← 安芸国分寺出土の
天平勝宝二年記銘木簡
（西暦750年）

古代の神社跡で出土した遺物とは？



実物



複製

西本6号遺跡出土毛彫馬具



安芸国分寺（西条町）出土の軒瓦や墨書土器など

Q. 建物のどこかにサルがいます。見つけられるかな？
※ヒント：〇〇と煙は高いところが好き。 答えはコチラ↓

© 2014 東広島市出土文化財管理センター